



コミュニティ・スクール

三鷹の森学園

CS

だより

第15・16合併号

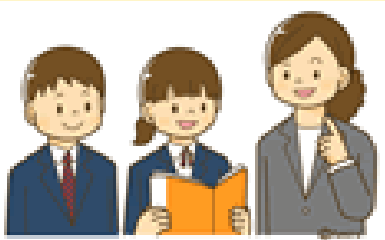
～地域は学校を支え、学校は地域を結ぶ～

平成二十五年 二月
学園長 萩野 幹夫
会長 石井 章夫
編集 広報部

三鷹の森学園コミュニティ・スクール

「支える」ってどういうこと？何のための評価なの？地域に開かれた学校って？CSのメリットは何？学校はどう変わったの？CSだよりは、そんな地域のみなさんの声に答えたいと思っています。まずは中を開いてじっくりお読みください。

地域から学ぶ



地域と考え・つくる



漢検コーナー

地域の見守り



見守り隊のみなさん



ゲストティーチャー



学校農園



顔の見える連携の“その先”へ！

三鷹の森学園CS委員会会長

石井 章夫



動しているわけですが、より直接的に学校と連携をし、子供達の笑顔・地域の笑顔を意識しているのがCS委員会です。地域が学校を支え、学校を中心に地域が活性化するというCS委員会があるからこそ成し得た連携はかけがえのないものです。『顔の見える連携』は、これからも意識し続けてまいります。

「わからない」を「なるほど」へと挑戦し続ける広報部、また、動き出したら立ち止まる時間もなく「より良く」と意識を上げて動いた地域部・サポート部。今号の中にある通り、回収率・精度ともにさらに引き上げた評価部。これからは長続きする組織となることを全体で考えていかなければならない時期となりました。

価値観の転換を日本のみならず世界中に迫ることになったあの震災を忘れず、今生きていること、仲間とともに動いていること自体が面白く楽しく素晴らしいこと（＝有り難いこと）であるとしっかり認識し、さらなる一歩を！との想いでおります。

今後ともご理解・ご協力宜しくお願い致します。

子どもたちのやりたいこと、学びたいことを かなえるまちづくりを！

心から誰かのためにしてあげたいと思い、心からありがとうと言うことができればそれはきっとすごいこと。感謝の心がみんなの笑顔を素敵にするよ。

子どもをまんやかに
みんなが動くみんながつながる



君たちが笑えば町中にもっともっと幸せが広がるよ
君たちが笑えばこの町はもっともっとよくなるよ
この手で、その手で、つながろうよ

消防団



防災キャンプや「まちの安全なくらしを守る」の授業に来てくれて、大切な消防団の仕事について教えてくれてありがとうございました。

スクール・エンジェルズ



暑い日も寒い日も校門で子どもたちの安全を見守ってくださり、ありがとうございました。

住協主催 水の実験教室



水のろ過装置の作り方を教えてくれた井の頭住協、多世代交流委員会のみなさん、ありがとうございました。

青少対委員会 地域パトロール



危険なところはないかチェックして、安全安心マップを作ってくださいたり、竹ぼうきの作り方を教えてくださった青少対のみなさんありがとうございました。

井の頭町会地域清掃



井の頭公園一斉清掃では一緒に公園を清掃していただきありがとうございました。

小学生

ソフトバレーボール大会

大会に向けて練習会を開いてくれた地域部のみなさん、教えてくれたチーム1010のコーチたち、チーム代表になってくれた保護者のみなさん、ありがとうございました。



五小サッカークラブ & 高山サッカークラブ

「三中行ったら一緒にサッカーやるんだから」と、五小、高山小の区別なくサッカーをしてくれる両チームのコーチたち。ありがとうございました。



駄菓子屋 五小



駄菓子屋をやるためにお店を貸してくださった、西野園さん、菊島不動産さん、ありがとうございました。

交通対



いつも子どもたちの安全を見守ってくださり、ありがとうございました。



自転車教室



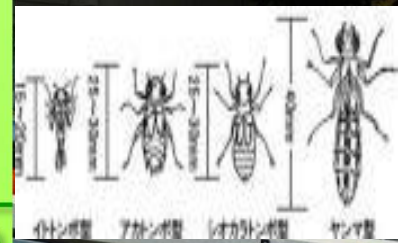
三中読書ボランティア部発声講座

講師の田所さんありがとうございました。



三中花壇ボランティア

三中の花壇をきれいに整えてくださり、ありがとうございました。



五小 ヤゴ観察会

ヤゴ採りの後、育て方や羽化のさせ方を教えてくれた地域の理科の先生、前田さん。ありがとうございました。

防災キャンプ



たくさんの防災体験や、夜のお楽しみを用意してくれたオヤジ、父親の会のみなさん、ありがとうございました。

ゴミセンまつり 三中ボランティア

三中生にボランティアの場をつくってくださった地域の皆様、ありがとうございました。



昔あそび



めんこやけん玉、コマ回しなどの遊びを教えてください、おじいちゃんおばあちゃん、ありがとうございました。

高山小レタス販売

6年生の自然教室で苗つけしたレタスの販売にご協力いただきありがとうございました。



金環日食観察会

安全に配慮しながら子どもと共に観察会に参加していただきありがとうございました。

子どもひなんしゅ

子どもたちの登下校を見守ってくださっている地域の方々。「おはよう、いってらっしゃい」の声かけをありがとうございます。



読み聞かせの会

朝や放課後、子どもたちにたくさんの本と触れ合う機会をつくってくださりありがとうございました。



あいさつうんどう

子どもたちと一緒に校門であいさつをしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



地域子どもクラブ

子どもたちの大切な放課後の遊び場、校庭開放のお当番ありがとうございます。



漢検 実行委員会

漢検を運営して下さっている実行委員の皆様、ありがとうございます。



高校生 CSボランティア

広報紙作りを手伝ってくれた高校生のみなさん、ありがとうございました。



春礼ゴミセンまつり 高山小吹奏楽部

子どもたちに発表の場をつくってくださった東部住協のみなさん、ありがとうございました。



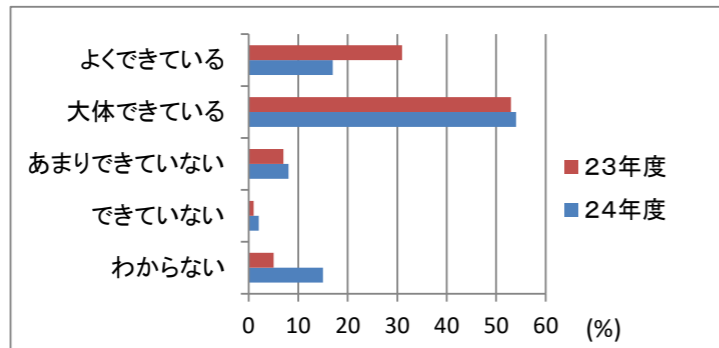
平成24年度 三鷹の森学園 評価アンケート結果報告

CS
評価部
の
徹底分析

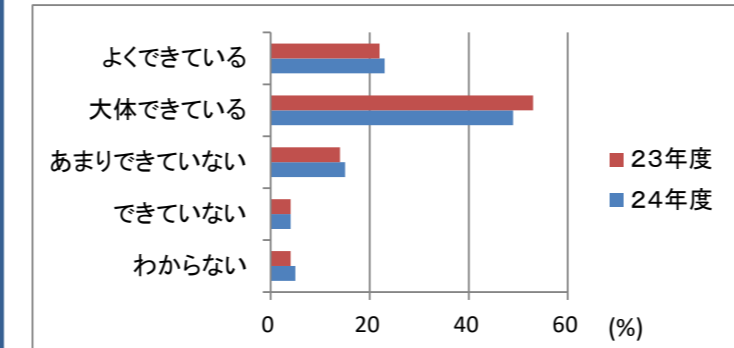


【学力向上】

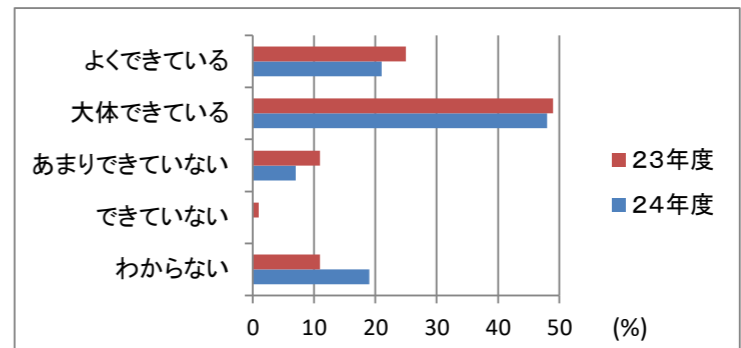
Q. 算数・数学の少人数習熟度別指導等授業を工夫している



Q. 子どもは、授業がわかりやすいと言っている



Q. 専門家や地域人財と連携した教育活動を支援している



高山小理科授業

「授業がわかれば、学校は楽しい！」

★授業が理解でき、達成感を得られれば、学力向上・健全育成両面において、学校生活の充実につながると思う。今後も、よりわかりやすい授業が継続して行われるように期待したい。また、専門家や地域人財と学校側が連携して行う教育活動は「人間力」を育むための生きた授業だと考える。コミュニティ・スクール委員会でも、よりいっそう充実した授業となるようもっと支援活動に取り組んでいきたい。



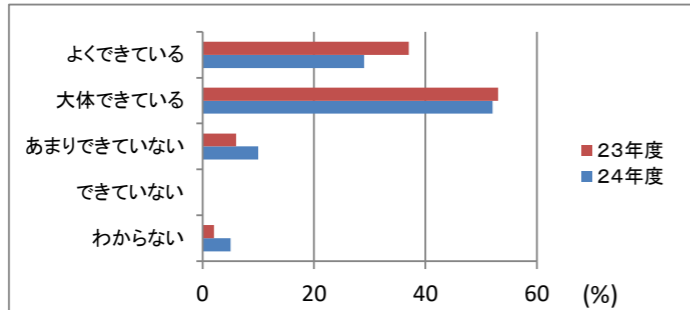
五小国語授業



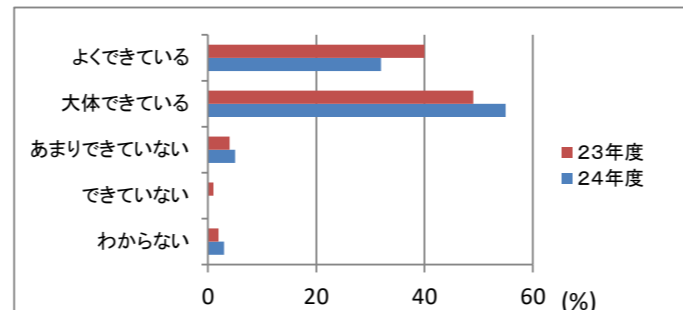
高山小ゲストティチャーによる授業

【健全育成】

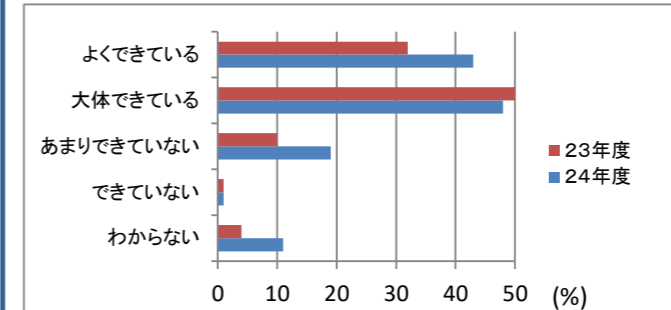
Q. あいさつ運動を通じて社会性やコミュニケーション能力を育てている



Q. セーフティ教室や避難訓練を行い、安全を意識した態度を育てている



Q. 地域でのボランティア活動や人の役に立つ活動を充実させている



高山小父親防災キャンプ



五小全校清掃



五小あいさつ運動

「常に振り返りながら子供たちとともに成長」

★「健全育成」の目標達成度は良い評価を得てほぼ達成していると思われる。しかしながら、現在の状況を継続していくためには、更に発展させていくことで維持継続できることを意識しなくてはならないと思う。現在に不足しているコミュニケーション能力の育成や危機管理、生きる力を育てるために、学校・地域・家庭が常に目的意識や意義等を振り返りながら、子ども達とともに成長していくことが大切だと思われる。



三中はなかいどうボランティア



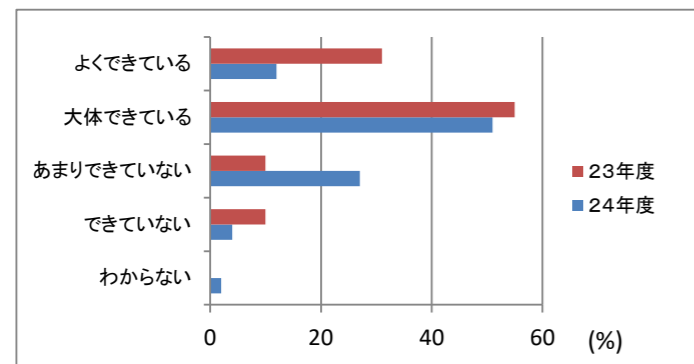
三小花いっぱい運動



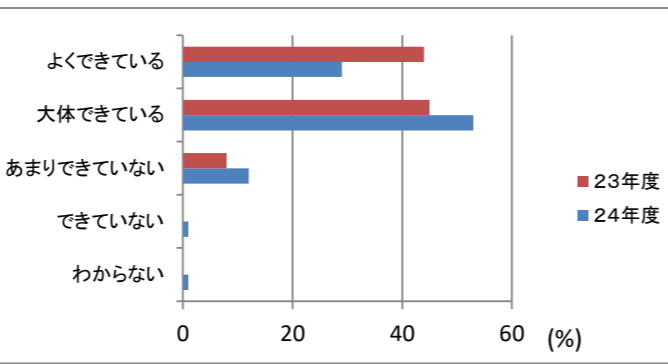
三小読書ボランティア

【家庭について】

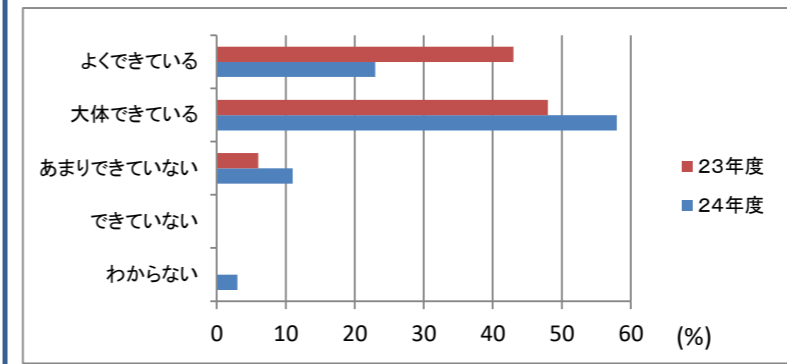
Q. 家庭学習が身につくよう具体的な取り組みを行っている



Q. いじめや生命の大切さについて話し合っている



Q. 相手を思いやり、人の役にたつように教えている



「家庭教育のあり方を再認識」

★家庭への設問は去年よりポイントが低下しているが、これは保護者の意識の高さの表れだと思う。家庭教育である「基本的生活習慣」「子どもとのコミュニケーション」という基礎づくりが、学園や各校の取組みを力強く支えていることを再認識し、今後も継続していただきたい。

CS評価部の役割

各校の自己評価や、保護者・児童・生徒を対象にしたアンケート調査を実施し、学園の教育活動の観察・評価研修などを通じて、評価結果を検証するなどの評価を行います。

大解剖

アンケートの見方～保護者の気持ち☆子どもの気持ち～



今年度の「学園評価アンケート」は「重要度」「実現度」に分けて回答していただきました。
 「重要と考えている」（ニーズ）と「実現できているか」（手応え）を分けることで課題を明確にする目的があります。
 アンケート結果から何がわかるのか一緒に考えてみませんか？
 また、同じ時期に学校は、児童・生徒にもアンケートをおこなっています。そちらの結果も併せてご覧ください。

英語授業について



保護者は小学校の英語活動と中学校の英語の授業の連携は重要と考えている。しかし、連携が出来ているかどうかわからないとの回答が多数ある。

児童アンケートからは英語の授業は楽しく、英語をもっと話してみたいと思っている子どもが多い。

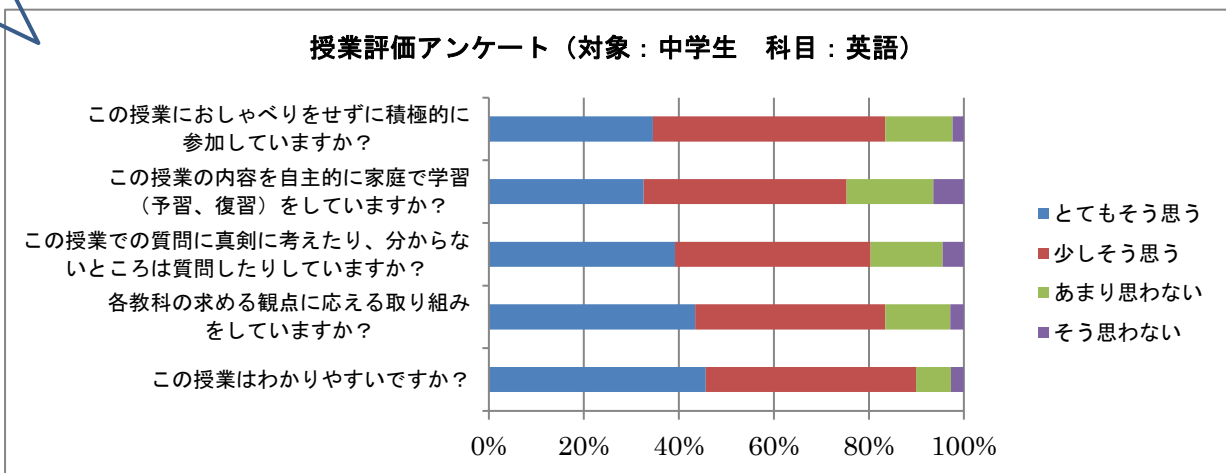
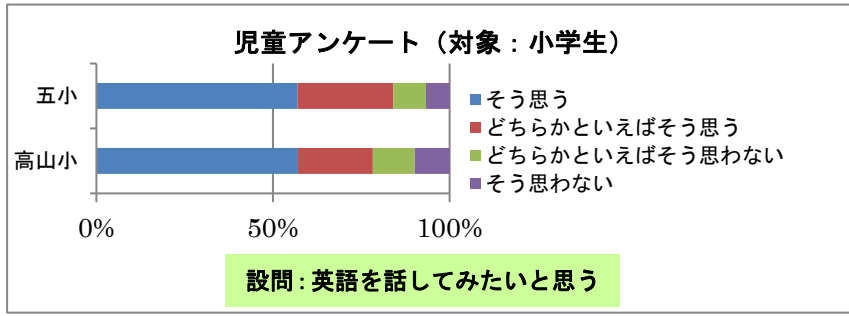
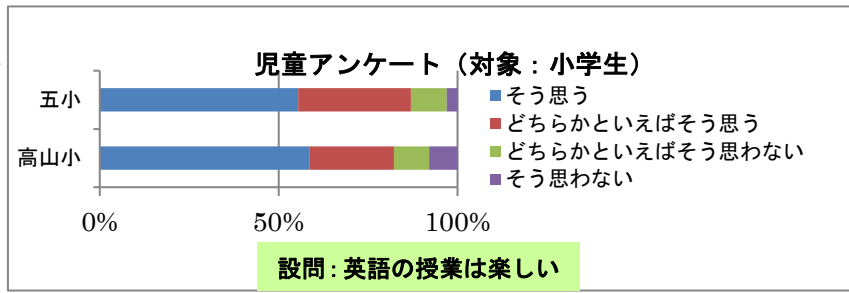
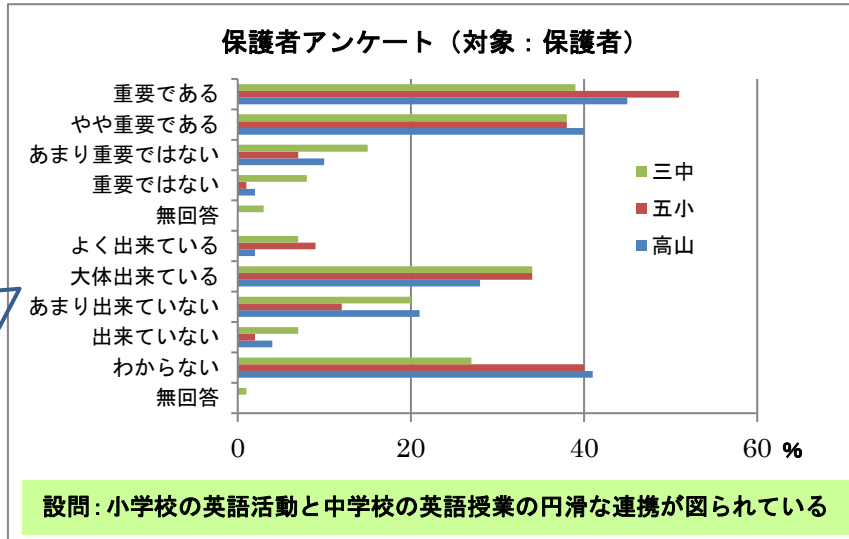
中学生のアンケートからは英語の授業に積極的に取り組んでいることがわかる。小学校の英語活動で英語の楽しさを体験し、中学校では習熟度に応じた少人数授業をおこなっている。

学園の取組みを具体的に伝えるための情報発信の方法に工夫が必要なのではないか。

「わからない」の解決の糸口は学校公開にあり！

生き生きと楽しく英語を話す子ども達、中学生の意欲に熱意で応え授業する先生方。

まずは、学校に足を運び、ぜひ授業を参観して下さい。

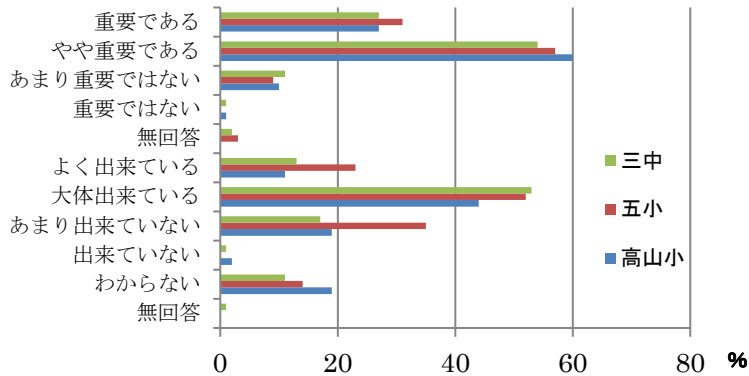


小・中交流活動について

保護者向けアンケートから小・中の交流活動は「あまり出来ていない」「わからない」との回答がある。**交流活動は6年生から**で他学年の保護者は評価しにくい設問だったと思われる。

6年生で体験する交流活動は**自然教室、水泳交流会、三中運動会、プレ中体験、部活動体験**などがある。

学園評価アンケート（対象：保護者）



設問：小・小や小・中の交流活動を充実させている

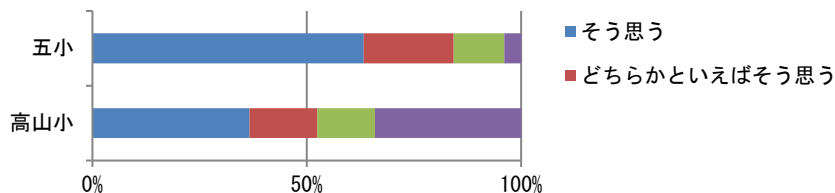
「重要であると」と感じて「大体できている」との評価なので、保護者のニーズは**交流活動の継続**と考えられる。

学園だからこそ出来る小・中交流活動

子ども達の感想をご覧ください。

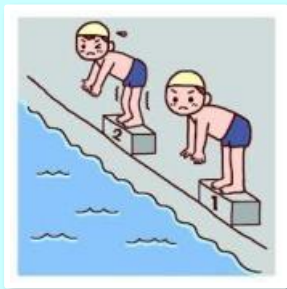
子ども達は交流活動を通して、いろいろなことを感じています。

児童アンケート（対象：小学6年生）



設問：高山小、五小の友だちができた

小学生の感想から （水泳交流会）



☆この水泳交流会のおかげで 25m を泳ぐという目標が出来て泳げるようになったので水泳交流会があって良かったです。

☆交流会で五小の速い人たちを見て、もっと速く泳ぎたいと思いました。

☆五小と高山小が水泳で対決するのが初めてだったので、興奮しました。



小学生の感想から （三中運動会）



☆五小の子から話してくれてうれしかったです。

☆高山小の人と協力して二人三脚をしました。いろいろな障害物を二人で息を合わせてすることがすごく楽しく、おもしろかったです。

☆五小の人もいたので、自然教室の友だちの予習になった。

☆高山小の人に「がんばろう」とたくさん声をかけられました。これからたくさん交流があるので仲良くなれてよかった。

☆今回は五小の人とも三小の人とも話せなかったけど、地域でやる行事に積極的に参加して、いろいろな人と仲良くなれたらいいなと思いました。

中学生の感想から （小学生部活動体験）



☆小学生に教えてみて、教えることの大変さが分かった。

☆あいさつや返事がしっかり出来ていて、見習うべきだと思った。

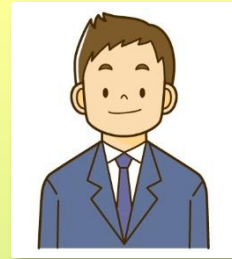
☆仲間の大切さを知ってもらいたい。次の機会は技術を教えてあげたいという目標が出来た。

☆小学生が楽しそうにしてくれたので、教えることは楽しいことなんだと思いました。

☆小学生は話を真剣に聞いてくれたので、こうして先輩から後輩に繋がっていくのだと思いました。

ニーズに応える学園をめざして

三鷹の森学園 学園長 高山小学校 校長 萩野幹夫



学園評価アンケートにつきまして、97パーセントもの高い回収、ご協力いただき感謝申し上げます。さて、本年度は、昨年度の質問内容を継続しながらも、簡潔な質問内容に変えました。また、今までの実現度だけでなく、重要度を聞く〈ニーズ調査〉も加味しました。

アンケートのデータ集計から、重要度が高く、実現度が低い項目を『最優先課題』として、また、重要度が低く実現度も低い『構造的な課題』についても細かい分析を進めて改善を図っていきます。さらに、記述していただいたご意見も学園運営に生かしていくつもりです。

『学力を高める』学園づくり

今年度より、研究協力校として、『自ら考え表現する力の育成』一言

語活動の充実を図った授業づくり』をテーマとして9年間の小・中一貫カリキュラムに基づき、指導内容の重点化・授業力の向上を図っています。その上で、小学三年生から中学まで行われている**算数・数学少人数習熟度別授業**や**中学校から小学校への体育・英語**と**小学校から中学への数学の教師の乗り入れ授業**は、学力向上につながっています。さらに、充実したものとなるよう取組ます。

『共に生きる』学園づくり

授業に地域人財や専門家を活用していくことは、**授業改善・子どもの社会性の育成・開かれた教育**になります。周知されていなかった外部指導者の授業も多く、保護者にも公開する機会を多くもつことで理解を深めたいと思います。

『協働する』 学園づくり

ご家庭での学習習慣の定着は、容易なことではなく、質問にある『具体的なとりくみ』を考えあぐねていることがわかります。

まずは、**基本的な生活習慣を確立**し、家庭での教育環境を整えることが大切です。そして、各家庭の個に応じた家庭学習のあり方を具体的な取組として、担任と相談の上、毎年一つずつ発達段階に応じて取組を増やしていくことをすすめていきます。

また、コミュニティスクール実行委員会の活動は、子どもたちの健全育成の支援の大切な役割を担っていただいております。児童・生徒が積極的に参加するようにお願いします。



木幡敬史先生

慶應義塾大学
大学院 講師

三鷹中央学園
コミュニティ・
スクール委員

今年度から三鷹の森学園「学園評価アンケート」作成のアドバイザーを務めて下さっています。

三鷹の森学園の今年度の学校評価は、従来の視点をさらに深め、今年度1年間の実際の取り組みを中心に振り返る内容になっています。この調査は、保護者の皆様へのアンケートを通して**学校教育へのニーズ**をつかみとって、来年度の学校の経営計画へと反映する重要な情報となります。まずは回収率が重要です。なぜ回収率が重要かという、2つの視点があります。一つは、学校と保護者のコミュニケーションがどれだけスムーズに行われているかというパラメータになります。「学校にアンケートを返しても、何も変わらない」という諦めを感じる状況では、高い回収率は望めません。もう一つは保護者と子どもたちとの間で、どのぐらい**学校のことを話題**にしているかというパラメータという見方です。保護者の皆さんにとって、学校で子どもたちがどのように過ごしているかという情報は、子どもたちと保護者との会話を通して伝わるものだと思います。家庭で子どもと話し合い、その結果を記入したアンケート用紙はきっと学校に戻ってくるのではないのでしょうか。三鷹の森学園の今回のアンケート回収率は97%でした。保護者の皆さんが**学校に対して高い意識**を持っていると言えます。

さて、肝心の結果を振り返ってみると、小学校・中学校の保護者の皆さんからの結果は、学園に対して好意的な意見を持った結果と言えます。三鷹市の他の学園と比較した場合、学園のことについて「わからない」と答えた保護者の割合が少ないということです。これは、学園の取組について広報活動を組織的に行い、お便りやお知らせ・チラシの内容が**確実に保護者の皆さんへ伝わっていること**の結果だと思います。一方で気になる結果もあります。保護者の皆さんが子どもの学びの環境で特に意識されていることが**「家庭教育への取り組み」**ということがわかりました。特に、中学校では**授業の分かりやすさへのニーズ**も見られ、より学習そのものへの関心が高いことがデータから明らかになっています。この課題を共に解決するためには、学園のみならず、**家庭と学園が共に今の問題意識を共有**しながら、子どもたちにとって何ができるか、議論をすることからスタートし、よりよい**学びの環境**づくりを進めていくことが求められていると思います。

あいさつ運動～高山小の取組み～

高山小の代表委員は「目標は全員が笑顔であいさつを返してくれることです。」と三鷹の森学園の児童会・生徒会会議で元気よく発言していました。

今年からPTAでもあいさつ運動に「おはよう隊」として有志の保護者の方が参加されています。代表委員、保護者、先生が丸となって「あいさつ運動」に取組んでいます。



来て！見て！三鷹の森！

3月15日～22日 4月8日～22日

あいさつ運動

場所：五小、高山、三中 校門前

3月11日 三中の合唱コンクール

場所：武蔵野市民文化会館

時間：1年生 10:45 2年生 11:30 3年生 13:10

当日は生徒会が東日本大震災復興のための募金活動を行います。ご協力をお願いします。